

知財戦略プログラム

知財戦略プログラム

■ プログラムの特徴

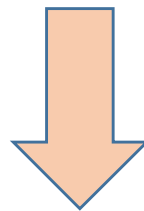
- 知財戦略科目群の履修、知財戦略ゼミでの研究指導により、知財分野の専門性を高める
- ビジネスロー関係の多様な科目の履修を通じて視野を広げる

■ 履修証明書（サーティフィケート）

- 知財戦略科目群のうち8単位の履修により、履修証明書（サーティフィケート）を付与

知財戦略プログラム：サーティフィケート取得要件

- BL専攻修士課程の修了要件を満たしていること
- プログラム修了時に知財戦略ゼミに登録していること
- 講義科目22単位以上のうち、**知財戦略科目群**から**8単位以上**修得していること



修士（経営法）の学位に加えて
知財戦略プログラムのサーティフィケートを授与

知財戦略プログラム：知財に関連する多彩な科目

知財基本科目

著作権法 / 特許法

知財発展科目

商標法・不正競争防止法 / 意匠法 / ライセンス契約法 / デジタル時代の著作権法 / エンタテインメント法 / 知財侵害訴訟 / 特許出願戦略 / デジタルビジネスと法 / 情報法特論（プライバシー・セキュリティ） / Web 3・メタバースと法 / アジアの知的財産法 / 中国知的財産法 / 国際知的財産法

ビジネスロー科目

コーポレート・ガバナンスと法 / M & Aの法務 I / M & Aの法務 II / 競争政策と法 / ビジネス紛争処理法 / 雇用関係と法 / 企業課税 / ベンチャー企業と法 etc.

GBL科目

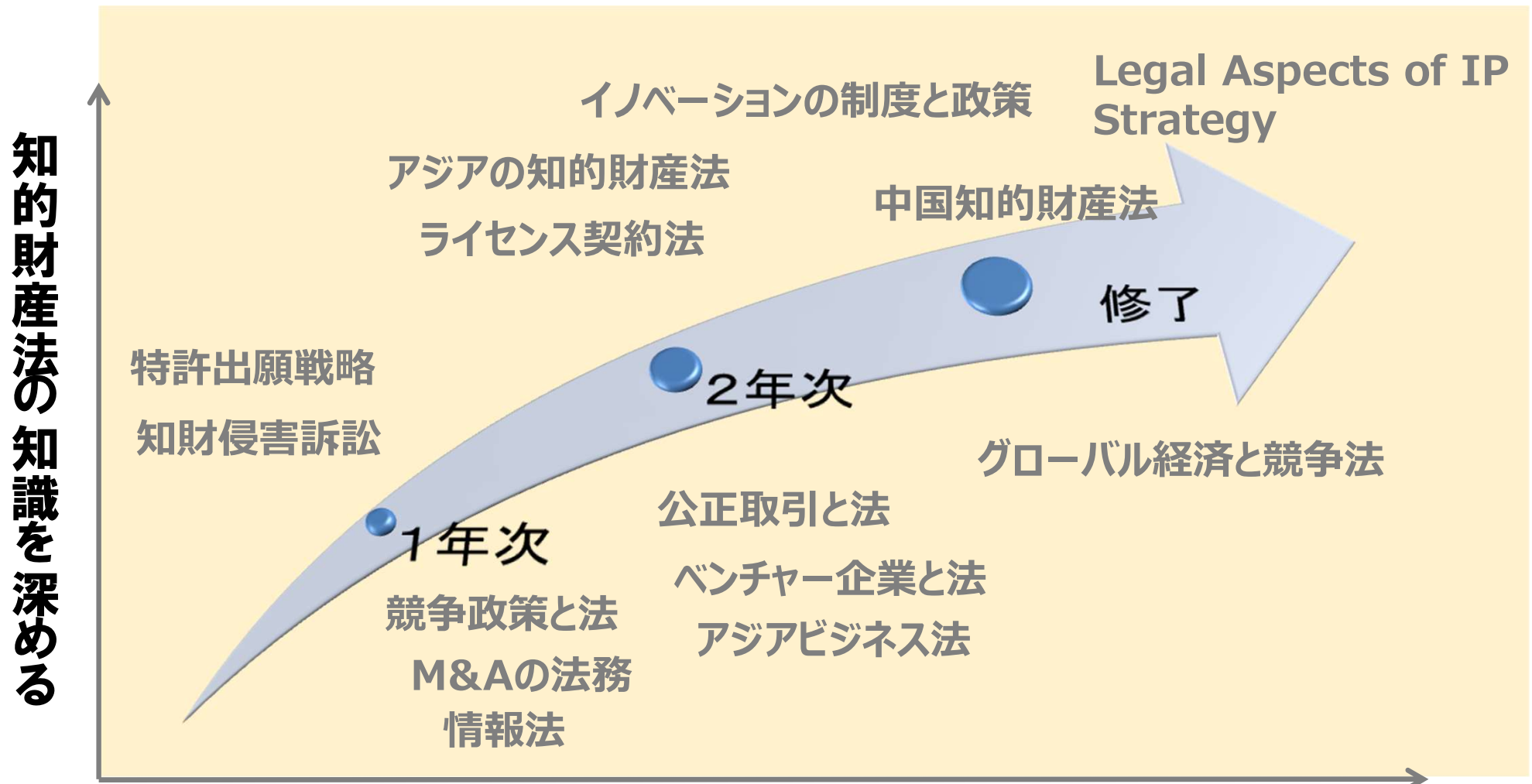
国際法務戦略 / グローバル経済と競争法 / アジアビジネス法 / International Entertainment Law / Legal Aspects of IP Strategy / EU環境・ビジネス法 etc.

MBA講義科目

IMPP(イノベーションマネジメント・政策)プログラム科目

知財戦略プログラム：履修モデル

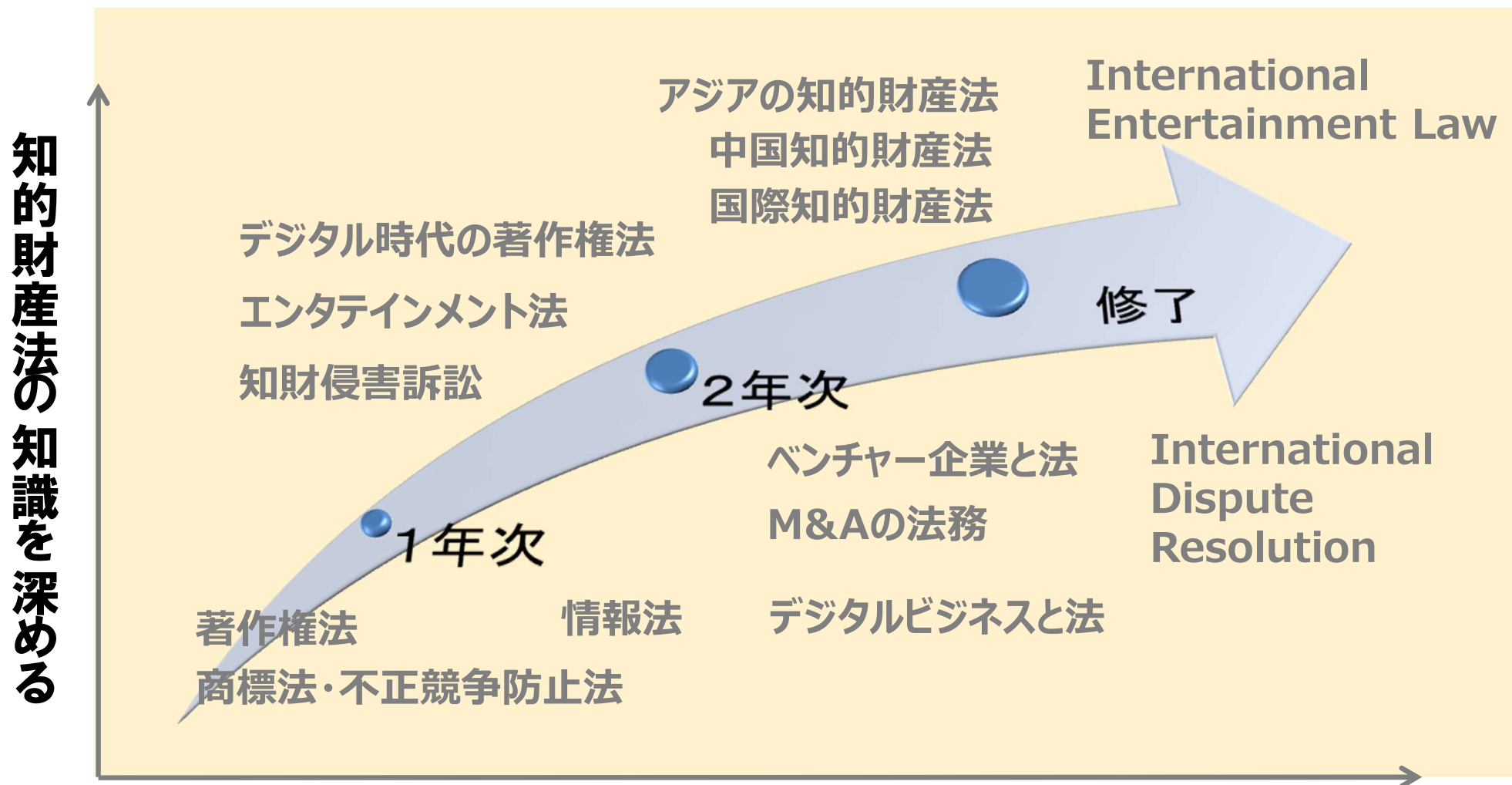
幅広い知識をもつ**特許**のプロフェッショナルに



知的財産法を超えて視野を広げる

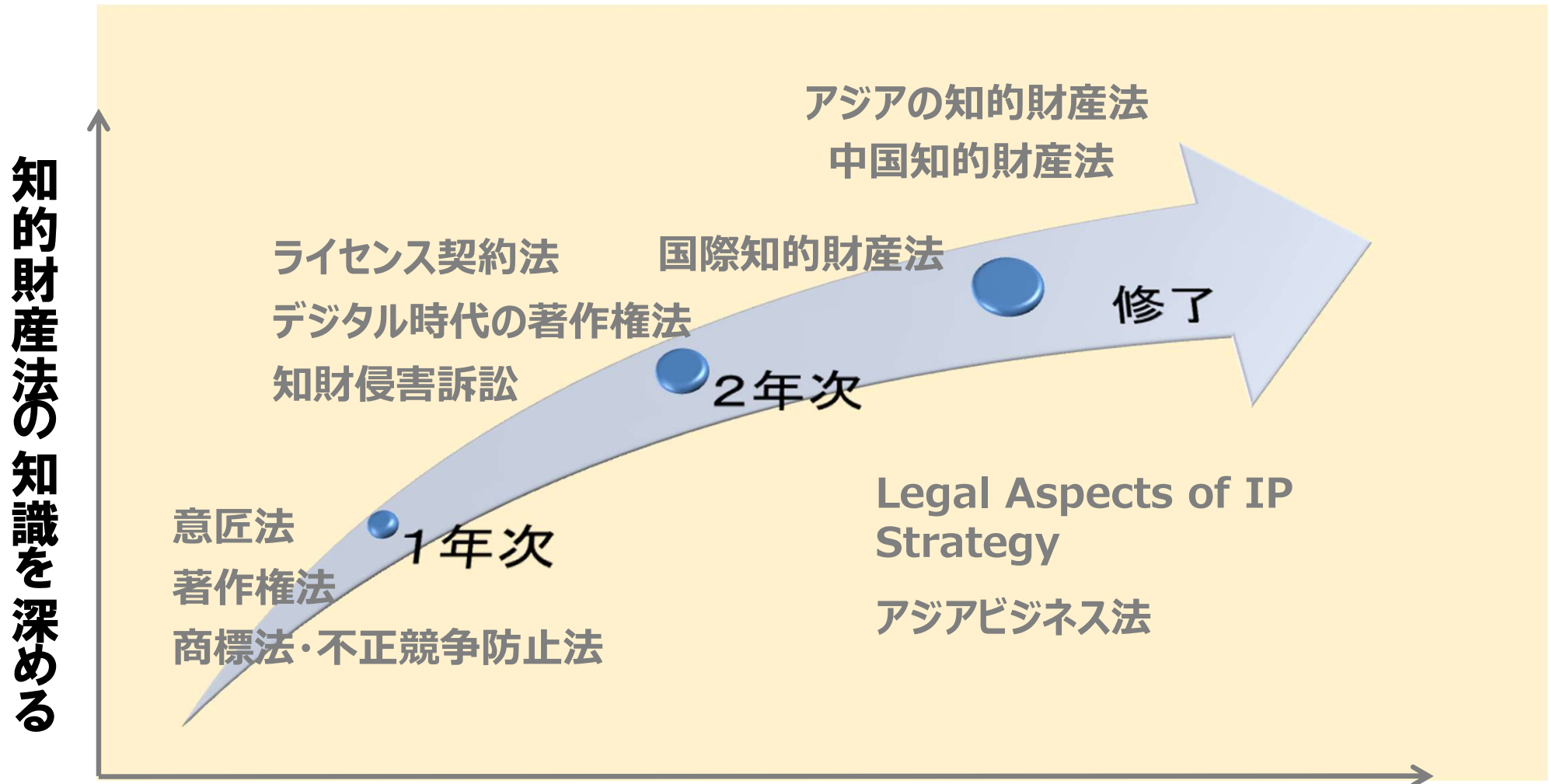
知財戦略プログラム：履修モデル2

エンターテインメント・IT系の知財に強いスペシャリストに



知財戦略プログラム：履修モデル3

ブランド・デザイン系の知財のスペシャリストに



知的財産法を超えて視野を広げる

知財戦略プログラム：論文タイトル（2022/2023年度修了）

- 商品形態の「商品等表示」に関する一考察直近10年間の裁判例の実証分析を通じて
- 都道府県が育成した植物品種のブランド展開についての考察登録品種に関する登録商標の分析から
- 不使用取消審判における「使用」の判断—商標的使用の要否と不使用となる著名商標の保護—
- 日本におけるステルスマーケティングに対する規制対象の在り方について—企業実務の視点を踏まえ—
- 衛星データの利活用と法的課題—知的財産法制度上の評価と契約実務に係る施策—
- 劇場用映画における対価還元と著作権契約法の透明性義務 EUやフランスでの議論を手掛かりに
- 二次創作ガイドラインに関する研究ファンコミュニティに与える影響と機能について"
- 悪意の商標出願を構成し得る考慮要素に関する一考察-近年の審決・決定例の分析を通じて—
- 日本企業における知財部門の影響力規程要因
- 不正競争防止法2条1項11号-16号(限定提供データ)についての考察

知財戦略プログラム：論文タイトル (2022/2023年度修了)

- 応用美術における著作権法と意匠法の重複適用の問題点についての一考察
- これからの電子書店の終わり方を考える
- オンラインショッピングモールにおける商標権侵害紛争解決手続についての一考察
- 複数主体が関与する特許権侵害に関する一考察
- 「秘匿技術の適切な保護」という観点を踏まえた先使用权の認められる範囲
- グループの内部分裂後の商標の使用のあり方に関する一考察—需要者保護の視点から—
- プロレスの必殺技における著作物性についての一考察
- 日本におけるシンクロナイズーションライツのあり方に関する考察
- リバース・エンジニアリングを巡る法的諸問題に関する一考察 ～平成30年著作権法改正後の議論を踏まえて～
- 物品と一体の画像デザインに係る意匠権侵害に関する考察 —間接侵害規定の適用を中心に—
- 急増する知的財産侵害物品の水際取締に関する考察～越境電子商取引を利用した輸入への対応～